

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和6年2月29日

事業所名: なかよし園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・グループ分けをして活動を行うなど工夫している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・基準よりも多くの職員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・クッション性のある素材の床で快適に過ごしている。	
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・年間の療育計画及び個々の子どもの支援計画をもとに、療育の打ち合わせを行い、職員間で情報の共有を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・結果の公表については親の会を通じて伝達し、ホームページでも公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		・効果的な外部評価を検討していきます。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・法人の研修が充実しており、園内でも毎月、テーマを決めて職場内研修を行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別面談を行い、保護者が子どもに関する困り感に耳を傾けて、助言を行っている。個別支援計画に反映させている。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・保護者のニーズを聞き、同法人内での発達検査を動めている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・子どもの状態を共有しながら支援方法の話し合いを行い、立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・子ども達が様々な経験ができるように活動内容を工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				・第1、3、4土曜日だけの開所です。年間計画には、季節や園の立地条件を有効に活用した活動内容・児童センター等との交流、SST、運動遊びをバランスよく取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・事前に計画を立てた時に打ち合わせを行い、開始前にも打ち合わせをして確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・毎回、実施時の様子やその他、些細な事でも伝達し合っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・個別日誌に記録をとると共に、活動の内容を保護者に知らせるために様子を写真に撮り、掲示している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・年に2回、聞き取りと共に見直しを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・学校の支援計画への記入依頼を受けて、利用者の記入を行い、情報の共有を行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		現在、該当児の在籍がありません。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				障害児福祉サービス事業所からの要請に応じ、提供することとしています。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・公開療育に参加したり、公開療育を行い、他の療育機関との連携を図っている。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・年2回、同法人の児童センターの子どもや地域の子どもの交流を行っている。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・地区のネットワーク会議や連絡会に参加している。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・児童発達支援に在籍している時に、参加している保護者がいる。就学後は市教委主催のトレーニングに参加している。	
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・子育てについての悩みは随時、相談を受けながら、支援方法について保護者と一緒に考える体制をとっている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				○	・保護者からの意見を踏まえながら、今後検討していきます。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・園だよりを配布し、発信している。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			・同法人のプライバシーポリシーの下、十分に配慮している。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				○	・今後は状況を見ながら検討していきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・緊急退峰マニュアル、 防犯対応マニュアルを 作成している。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っているか	○			・非常災害の発生に備 え、マニュアルを作成し ている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか	○			・外部の研修会に参加 したり、年一回は必ず 職員研修を実施してい る。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ いて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説 明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に 記載しているか	○			・現在は対象の子ども がいない。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか	○			・入所面接時に確認し、 指示書の有無を確認し ている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してい るか	○			・小さなことでもその都 度、記録に残している。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)





